

様式第3号

議 事 録

会議名		第3回 あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議	
事務局(担当課)		行政経営室	
開催日時		平成27年11月18日(水) 18時30分から20時30分	
開催場所		川西市役所 4階 庁議室	
出席者	委員	新川達郎、藤本真里、国津元司、福元達也、伊藤繁治、内海陽平、山田秀一、橋本英仁、大澤茂男、加門文男、永瀬雅一、荻野毅、志賀俊彦、田中まこ、吉田誠、山上豊、小田博則、菅原康雄副市長、本莊重弘副市長	
	事務局	松木総合政策部長、船曳行政経営室長、志波行政経営室主幹、小野行政経営室副主幹、稲治主査、山田主事	
傍聴の可否		可	傍聴者数 3人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		1 開会 2 議事 あんばい ええまち かわにし創生人口ビジョン(案)及び総合戦略(案)について 3 その他 4 閉会	

発言者	発言内容等
事務局	<p>それでは、ご案内しておりました時間がまいりましたので、 「第3回あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議」を開会させていただきます。皆様におかれましては、ご多忙にも関わりませず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>なお、本日は新川会長が急用のため遅れて来られるとご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。</p> <p>また、委員であります、大阪成蹊学園の池田さまがお仕事の都合でやむを得ず欠席されるということを聞いておりますので、ご報告をさせていただきます。</p> <p>事前に資料を送付させていただき予定でございましたが、調整に時間を要してしまい、事前にお届けすることが叶いませんでした。申し訳ございませんでした。</p> <p>本日は、前回ご議論いただきました点につきまして、事務局で修正等を加え、「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略(案)」として再度まとめております。改めまして、活発なご議論をいただければと存じます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>では、まず始めに、資料の確認をさせていただきたいと存じます。 まず1枚目会議次第でございます。A4の1枚でございます。 次に出席者名簿これもA4で1枚でございます。 次に座席表これも1枚でございます。 次に、人口ビジョンですがカラーで冊子1枚です。 次に、総合戦略案これもカラーで冊子1枚です。 次が、変更箇所対照表ということでこれがA4で3枚でございます。 最後に、幸せ実感指標に係るアンケート結果でA4の1枚でございます。 以上たくさんございますが、不足はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>すいません、最後の1枚はなんでしょうか。</p>
事務局	<p>幸せ実感指標に係るアンケート調査結果で円グラフの資料です。 その他不足はございませんでしょうか。 それでは、新川会長が到着されるまでの間、藤本副会長に議事の進行をお願いしたいと存じます。</p>
副会長	<p>こんばんは。前回の会議で、先生が少しお仕事の関係で遅られるということを伺っておりました。最初の資料を説明するくらいに到着されるとおっしゃっておられましたので、次の場面では新川先生が進行されるのではないかと思います。</p> <p>第2回会議から3週間が過ぎました。 その間、短い間ではありますが、人口ビジョン素案、総合戦略素案、前回の議論を踏まえて修正したものについて、事務局より配られております。</p> <p>たぶん修正箇所を中心に説明いただけたと思いますが、それ以外の所でも意見がございましたら、ご議論いただければと思います。</p> <p>会議時間としては2時間くらい。8時半くらいには終了させていただきたいと思っておりますのでご理解・ご協力をお願いいたします。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>それでは、「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略(案)」について事務局より説明をお願いします。</p> <p>それでは今回、素案から修正させていただいた内容につきましてご説明させていただきます。</p> <p>人口ビジョンあるいは総合戦略の案を大きく分けておりますけれども、変更箇所対照表というA4で3枚ものの資料でお示しをさせていただいております。</p> <p>人口ビジョンの所ではご指摘をいただいた中で推計にかかるグラフを変更しております。その他総合戦略というところで各項目に応じてまとめておりますので、これをおきながらご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>まず人口ビジョンでございますが、社人研の推計を踏まえまして市独自のシミュレーションを行った部分で当初2.16という数字がありました。</p> <p>現実的ではないというご指摘をいただきましたので、再精査をさせていただきました。</p> <p>資料ベースでは17・18ページがシミュレーション1・2であります。</p> <p>こちらを再精査しまして基本的に年間出生数1,000人をできるだけ確保するという過程。シミュレーション2については1に加えて社会動態ゼロの前提について変えてはございません。13ページの年齢階級別合計特殊出生率の、年代に応じて出生率が違っているということを加味しながら推計したものが2の表でございます。</p> <p>数値的には前回と微妙に数字が変わっています。</p> <p>最終2060年(平成72年)の数字は97,000という数字からシミュレーションより110,000程度の数字ということで出てきました。</p> <p>最終的に数字を見たところで出生率との比較をさせていただいて、あらためて合計特殊出生率の推移というかたちで評価をさせていただいております。</p> <p>その結果、文章で足していますが、『上記の過程により推計した結果、本市の合計特殊出生率は平成52年に1.71、平成72年に2.01と見込まれます』と記載をさせていただいております。グラフ化もしています。</p> <p>国の人口長期ビジョン、平成42年の段階で1.8、平成52年の段階で2.07の出生率を確保する事で平成72年、2060年に約1億人が見込まれるというような推計をされておりますので参考に数字を入れております。</p> <p>兵庫県におきましては平成52年に1.8、平成72年には2.0になるであろうということで人口ビジョンを作っておられます。</p> <p>こちらがシミュレーション1でございます。シミュレーション2の18ページ、これには社会動態ゼロという条件を加えました。基本的には同じ考え方で年齢を細かく見まして出生率を反映し1,000人を確保して推計をしております。結果としまして人口は110,000人と同じような数字になっています。</p> <p>合計特殊出生率は平成52年に1.70、平成72年に2.0になると見込まれております。</p> <p>国・県の参考数値については同じでございます。</p> <p>以上、今回、再精査をさせていただき、掲載しております。</p> <p>つづきまして、総合戦略(案)です。</p> <p>さきほどの対照表にあわせてご説明させていただきます。</p> <p>まず前回の素案の段階では目標値を精査していないということで空白のもの、数</p>

発言者	発言内容等
	<p>字も仮のものでございました。今回は精査をさせていただいて、最終案として載せております。</p> <p>原則的に総合計画で平成 29 年度が前期基本計画の満了で、数値目標を立てていまして、同じ項目をつかっているものについては当該数値と同じにさせていただいて指標目標としています。</p> <p>それが 16 指標程ございます。総合計画の目標ですけれども、既に目標値を達成しているとか状況が変わったとかで、明らかに加味する必要があるものについては総合戦略として見直しをかけて総合計画とは数値が違います。これが 6 指標ほどあります。</p> <p>残り 17 指標につきましては新規指標です。これは現状の数値を入れながら、担当が目標値を設定しました。</p> <p>目標値の説明については以上です。</p> <p>つぎに 2 ページを開けていただきまして、一覧表がございしますが、その基本目標 3 つ目『地域の絆を深め次世代交流を促進する』という部分の主要な施策のところ『健幸づくりの推進』。健康は通常『康』ですが、市の方で進めています『健幸』という表示に変えさせていただきました。</p> <p>居場所づくりについては、より明確にするように、『つながり支え合うまちづくり』というふうに変更しております。</p> <p>3 ページ目は先ほどの数値目標で入ってなかったところを追加しております。</p> <p>幸せの実感指標につきましては、アンケートで出た数値を現状値としてとらえ、目標値を設定しております。</p> <p>4 頁の生産年齢人口比率の数値を目標値として改めて掲載をさせていただいております。</p> <p>5 頁になりまして、これも重要業績評価指標の目標値を改めて記入させていただいたところと、取組内容のところ、自転車道整備計画という表記をしておりましたけど、自転車道という表現が不適切ということがございましたので「自転車通行空間の整備の検討」ということで文言の整理をさせていただいております。</p> <p>続きまして 6 頁、「公共施設マネジメント強化」の、課題で文章を再整理させていただきました。</p> <p>現実に大規模団地の開発のなかで、人口急増を伴いながら住宅として発展してきたこと。50 年経過するなかで、公共施設老朽化が進んでいるという事実の確認のもと、今後将来の人口減少を見据えて公共施設の老朽化対策を総合的に推進していくということがあります。</p> <p>それと共に人口規模、市民ニーズに応じた公共施設の有効活用等を検討していくということで、前回より明確化させていただいております。</p> <p>それと同じような形で具体的な施策の展開につきましても、合うような形で表現しております。公共施設の現状及び将来見通しを把握し、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などこういう事実の部分の踏まえ、公共施設の最適な配置をめざすと表現を変えさせていただいております。</p> <p>取り組み内容につきまして最適な配置という言葉を使っておりますが、適正配置という言葉で表現させていただいております。</p> <p>7 頁に移らせていただきまして「魅力の創造・発信」。ここも文言整理でございます。多田清和源氏の発祥となっておりますが、清和源氏と文言整理させていただ</p>

発言者	発言内容等
	<p>きました。</p> <p>それから指標のところでは具体的な目標値をいずれも入れさせていただいたというところがございます。</p> <p>取組内容につきまして、文言の整理もさせていただき、前回は川西の魅力のスポットの発信とスポット整備の2つがありましたが、それを統合し、かわにしの魅力スポットの発掘とPRに変更させていただいております。</p> <p>新たに追加したものとして、既に行っている『のせでんアートライン妙見の森』や『川西まちなか美術館などへの開催支援』を魅力の発信として市として支援をしているということで載せています。</p> <p>続きまして、8頁「安全安心のまちづくり」。こちらは言葉の整理だけです。内容はまったく変わっておりません。</p> <p>具体的な施策の展開につきましても、高齢者、障がい者、要介護者から生活保護受給者というのもありましたが、内容を整理して要介護者だけにとどめて整理をさせていただきました。</p> <p>2番目の防災行政無線のところについても言葉がかぶっていたので、整理をさせていただきましたところ。</p> <p>続きまして重要業績評価指標につきましても、目標数値を設定させていただいたことと、追加で地震や火災などの災害に対する備えができていく市民の割合という部分と、人口一人あたりの犯罪発生割合、当初は犯罪発生件数ということであげておりましたけれども、人口が与える影響も加味する必要があることから、人口一人あたりの犯罪発生割合ということで、パーセントの表記に改めさせていただいております。</p> <p>取組内容ですが、防災組織という表現をより明確に自主防災組織と変えているのと、防災関連施設等の整備を施策として追加しております。</p> <p>9頁に移りまして、こちらでも重要業績評価指標の目標値を具体的に設定しました。</p> <p>取組内容については雨水貯留タンク設置助成制度の拡充と、ごみ減量化に係る啓発等の実施、この2点を追加しています。</p> <p>10頁にうつらせていただいて、こちらでも、基本的方向性のところで、「そのため、」という2行目ですけれど、明確に出会いから結婚出産子育てまでというところの、出会いからの部分を改めて明示をしております。数値目標についても改めて数値をいれております。</p> <p>続きまして、11頁にうつらせていただいて、こちらでも出会いからの部分をより明確にするということで文章表現を課題のところを変えております。</p> <p>それに合わせたなかで具体的な施策の展開も出会いや結婚と、結婚だけに限っていた表現を変えております。</p> <p>重要業績評価指標の数値も、取組内容も表現を変えさせていただいて、これから進めていきたいなという名称で書いていますけれど、「このまちで幸せになろうプロジェクト」の展開ということで記載させていただいております。</p> <p>括弧書きでどんなことか具体的には、出会いのイベントや結婚費用の支援などしていきたいということで記載をさせていただきました。</p> <p>続きまして12頁、出産支援でございますけれども、こちらでも具体的な施策の展開のところ、より出産前から明確に最終子育てにわたってのところの表現をより明確に支援を充実していきますよという表現に改めさせていただいたところがございます。</p>

発言者	発言内容等
	<p>妊婦健康診査助成者数というところで、前回、受診者数となっておりますが受診者数が把握できないことがわかったので、助成者数ということで、一定の金額助成しているものの数字に変えさせていただきます。</p> <p>取組内容のところ、少し文言修正をさせていただいたところでもあります。</p> <p>13 頁で、「子ども・子育て支援」でございますが、具体的な施策の展開で、病時・病後時保育という表現であわせて書いておりましたけれど、現実的には今現在やっておりますのが、病後時児保育これはすでに実施しております。</p> <p>今後検討していきたい部分として病児保育、切り分けて表現をさせていただいたところがございます。</p> <p>数値を入れさせていただいたところと、取組内容については、新たに追加して、改めて「乳幼児健康診査等母子保健事業の実施」を追加させていただきます。</p> <p>14 頁に移りまして、「教育環境の充実」で、課題のところ記述を追加させていただきます。</p> <p>これは今、社会問題化しておりますけれど、生活困窮者の子供の対応ということで、大きくクローズアップされているところもございますので、今後の対応を明確に記述しておく必要があるだろうと、追加させていただきました。</p> <p>重要業績評価指数を改めていれさせていただきますけれども、「満足いく教育を受けられる環境が整っていると感じる市民の割合」は今回あらためてアンケートをとっていただいたものを、現状値と目標値として入れております。</p> <p>取組内容で、1 点「子どもの人権オンブズパーソン事務局の運営支援」が入っています。前は居場所づくりに入っておりました。</p> <p>現実的に相談も含めてイメージが居場所になっていりましたが、基本的には子どもの権利を守っていくということですので、教育環境のところ整理をさせていただきました。</p> <p>新たな課題を追加したことに対応しまして、スクールソーシャルワーカーの配置も検討していく課題もあるだろうということで、言葉を追加しております。</p> <p>15 頁にうつりまして、「女性が働きやすい環境づくり」です。</p> <p>言葉を追加させていただきますと、女性の活躍を促進する必要性ということで文言を整理させていただきました。数値の部分で目標値を入れたということ、追加で川西市役所における女性職員の割合。市内企業も含めてとできればよかったです。市役所全体として女性職員を活用していくことを積極的展開する必要があるだろうということで、改めて入れさせていただきます。</p> <p>16 頁、基本目標3でございますけれど、これは文言の修正をさせていただいております。</p> <p>数値目標につきましては、前回と違うポイントを使わせていただいております。前回、「参画と協働の取組みを行ったことがある市民の割合」としていましたが、「自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合」に切り替えています。</p> <p>それとあわせて追加しまして、市民活動団体の有用性がございますので、「ボランティアやNPOなどの活動に参加している市民の割合」も改めて指標として追加させていただきます。</p> <p>それから幸せ実感指標ということで、今回改めて作った部分の速報値に対応した部分で、現状値目標値を設定させていただきました。</p> <p>17 頁、先ほどご説明させていただいた、健幸づくりの健康の字を変更している部分と、取組内容については、「健幸測定会の充実」を追加し、文字の整理をしまし</p>

発言者	発言内容等
	<p>た。</p> <p>1つ状況が変わりまして「健幸クラウドを活用した健康施策の展開」が入っていましたが、この活用が難しい状況が出てきましたので一端削除しました。</p> <p>18 頁「自主的な地域づくり」で、こちらも文言を整理し、表現を変えております。重要業績評価指標の現状値、目標値を改めて入れさせていただいたところでございます。</p> <p>19 頁については、先ほど言いました、居場所作りという表現を「つながり支えあいまちづくり」ということ、今回は『社会的弱者』となっていたところを、『高齢者の孤立化』と表現を整理し、高齢者などにとどめています。</p> <p>ここについては、当初、重要業績評価指標で『認知症予防にかかる地域の居場所数』としておりましたが、担当課とも相談しまして『認知症カフェの数』と表現を変えさせていただき、数値を入れました。</p> <p>具体的に認知症に対応する為に、改めて認知症サポーター人数を追加しました。これに対応する取組内容も追加させてもらっております。</p> <p>20 頁でございます、基本目標の最後の部分です。このページにつきましては数値目標を明確化し、数値を設定しました。</p> <p>22 頁、「新たな仕事と雇用の創出」です。具体的な施策の展開に1つ追加しました。「女性・シニア世代の企業支援を行います」ということ、それに呼応する形で取組内容にも「女性・シニア世代の企業支援」と記述しております。あとは数値の整理をさせていただきました。</p> <p>続きまして23 頁、「産業の活性化」というところでは重要業績評価指標の数値の設定と、取組内容で具体的な内容について「五つ星ひょうご選定品に対する補助制度の創設」を追加しました。</p> <p>最後のページ、24 頁ですが、前回のご指摘をうけまして改めてこの総合戦略を進めていくなかで、市民・公益活動団体・事業者、それぞれ何か役割がありますよというご指摘を受けました。</p> <p>そこで何をその立場とするのか、あらためて表記しました。</p> <p>全体的には参画と協働のまちづくりを進めている本市におきましてその前提となるような表現で整理し、記述をして今回の総合戦略の展開の部分としてのそれぞれの役割を明記しました。</p> <p>市民につきましては、期待される役割として、「すべての市民が、ふるさと意識を持って、人と人とのつながりを大切に、まちづくりに主体的に参画し自分たちのまちを支えます。」とさせていただきました。</p> <p>市民公益活動団体については、「地域のつながり、自らの知識・専門性を活かし、さまざまなまちづくりの主体と連携しながら参画と協働のまちづくりを推進し、人口減少社会に対応した取組みを展開します。」</p> <p>最後に事業者は「まちづくりの様々な場面で官民連携の視点に立って、民間ノウハウの提供、事業への参画等、積極的に地域の活性化に貢献します。」ということで、市民は支え、市民公益団体は取組を展開、事業者は貢献ということで、整理をさせていただきました。</p> <p>最後細かいですが、同推進会議となっていたところを正式に「あんばい ええまちかわにし創生総合戦略推進会議」と修正させていただいております。</p> <p>修正の内容については、以上であります。</p>

発言者	発言内容等
副会長	<p>ありがとうございました。(会長は)到着されませんでしたね。</p> <p>このまま続けさせていただきます。それでは、今回が最後ということでこれが最終案となります。</p> <p>このあとこの推進会議のまとめということで答申を市長に提出させていただいて、その後パブリックコメントの段階に入るところであります。</p> <p>どこの部分でも人口ビジョンからでもよいし、総合戦略の方でもかまいませんので、皆さんご意見をいただければと思います。</p> <p>いかがでしょうか。盛りだくさんな内容で、早口で、消化するのに時間がかかるかもしれないが。</p> <p>1つ意見というわけではないですが、戦略の中の最初の、質問という感じですが、4頁にある取組内容でふるさと団地再生計画に基づく、再生計画プログラムが、私ネットとかで見ているととても面白い事業に思えますので、これで何をめざしているのか、これが特徴だというのがあったら皆さんのご意見をお聞きする前にお聞きできればと思います。</p>
事務局	<p>今ご指摘をいただいたふるさと団地再生計画、仮称としております。</p> <p>まさに川西は団地で発展してきたということで、全国的にも同じような課題ですけれども、どんどん人口が流出していっております。</p> <p>高齢化が進んで、空き家も増えてきています。これをいかに再生するのかというところ です。</p> <p>団地の中での地域の課題も含めながらにはなりますが、大きなところでは転入を促進していくようなところは、これから計画をつくっていくところでございますので、具体的な中身は申しあげられません。例えば空き家空気を流通するシステムを組んでいく必要があるのではないかと、とか地域内公共交通をいかに再生につなげていくかというところをこれから具体的に計画して進め、最終的に住み替え等による住宅の流動化、ひいては、若年世帯の流入につなげていきたいということが大きな目標であります。</p>
副会長	<p>各委員、他にご意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>1つ、質問というよりは意見ですが、14頁の学校に行くことが楽しい子どもの割合が、小学生は84%で現状値が、目標値が1%上がって85%になっているが、中学生のところは目標値と現状値が同じになっております。これについてなぜそのように書かれているのか教えていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>今の質問の部分でございますけれど、先ほど数値の前提として、総合計画で定めている指標につきましては、原則的には大きな状況変化がない時には29年に定めている目標値にあわせていくという形を原則としました。</p> <p>その関係でこの部分、総合計画で定めている数値だったものですから、あらためて大きな変化として、80%が現状でございますので、現実的には何かを求めるところまでないだろうと、現状、できるだけその部分は総合計画を達成したなかで、維持するということが基本的な目標としております。</p>
委員	<p>説明はよくわかりました。であれば、わざわざ新規で何かをやる必要があるのかな</p>

発言者	発言内容等
	<p>いのかという議論と、当然やらないと、現状値を達しているものに対して、現状 80%が満足いくという見解であれば、そのままでいいと思います。</p> <p>目標値もあると思われるので問題はないと思いますが、では英語教育の充実というところはどのようにご説明されるなかで、これは達しているのではという先ほどの話だったので、そこまでやる必要があるのかどうかというのが出てくるというのがありますし、そもそも、80%は高いのか、低いのかの議論も当然出てくると思いますので、その点について私はそれでもいいと思います。</p> <p>万が一出す時に説明が必要ではないかなと思うので、説明できるようにしておいた方がいいなと、これは意見でございます。</p>
委員	<p>質問してよろしいでしょうか。この数値目標のところ、何々と思う市民の割合と現状値が出ているということは、すでにこういうアンケートをされていると思いますが、具体的にどういう形で、何件くらいを対象に、どうやってやったのかわからないので教えていただいてもいいですか。</p>
事務局	<p>ただいまのご質問につきましてお答えさせていただきます。</p> <p>こちらは市民実感調査というものです。総合計画の進捗管理、そこで掲げられている指標の進捗管理のために実施しております。</p> <p>件数については 16 歳以上の市民 1,000 人に対してお送りさせていただいております。</p> <p>近年の状況といたしましては、だいたい 50%の回収率ですので、500 件程度のご意見です。</p> <p>無作為抽出で実施しておりますので、市内全域にわたり、まんべんなく実施し、その意見に対する回答という状況でございます。</p> <p>また幸せ実感指標については今回総合戦略策定に際しまして実施した幸せアンケートで条件は同じです。</p>
委員	<p>続いてよろしいでしょうか。例えば 14 頁の『学校に行くことが楽しいと思う子どもの割合』というのは小学生 1,000 人に対して送った結果ですか。1,000 人に送ったなかの何割かが小学生でそのなかの 85%なのでしょうか。</p>
副会長	<p>(アンケートの条件の)16 歳だと、小学生が入らないですね。</p>
事務局	<p>小学生の『学校に行くことが楽しいと思う子どもの割合』につきましては、児童の実感調査というものを隔年で実施しておりまして、16 歳以上という市民実感調査とはまた違う根拠によるものです。</p>
委員	<p>もうひとつよろしいでしょうか。4 頁の生産年齢人口比率という数字ですが、これは分子、分母がどこから来ているのでしょうか。</p> <p>例えば人口ビジョンの 17 頁のグラフから、平成 27 年の総人口 153,189 名となっておりますけれど、生産人口 87,459 を割ると、58.5%にならないのですが。</p> <p>これはどんな計算なののでしょうか。分子分母はどこから出しているのですか。</p>
事務局	<p>こちらの 58.5%は平成 26 年度の住基人口を参考に出させていただいております。</p>

発言者	発言内容等
	<p>す。目標値の57.1につきましては人口ビジョンで書かれている32年時点の割合でこちらを掲載させていただいております。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
副会長	<p>よろしいでしょうか。他、ご質問でもよろしいので。</p>
委員	<p>前回から思っていたのですが、非常によくできていると思う一方、本当にこれだけのことができるのかなというのが素朴な疑問です。</p> <p>先ほどお話を伺うと総合計画がスタートして、それに乗る形で、その延長線上ではないでしょうけれど、体制としてはできているのかなと推測します。</p> <p>これに対して予算や体制、新たにこれをやっていくための市として組織を変えろというような取り組み、絵に描いた餅にしないための取り組みがある程度決まっていたら、あるいはビジョンがありましたら教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>総合計画で既に計画をしているところも踏まえて、おっしゃっていただいたように、従来から取り組みを進めているものもありますし、新規では改めて、こういう戦略を含めてやっていくということで記述しております。</p> <p>予算対応というのは個別のなかで見ていく必要がございますので、この5年間のなかでできるだけ方向性を確立していきたいということでございます。</p> <p>まだ、基本的には絵に描いた餅までではありませんが、これからというのはございます。</p> <p>ただ、ご指摘いただいた体制の問題につきましては、魅力発信等、集中的にやらないといけないこともございますので、庁内全体で調整を含め、担当を設けることで組織も改編していきたいと考えております。</p>
副会長	<p>他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>前回協議されました素案と比べて、今回の案も非常に練られて、修正されて、良い出来栄えとなっていると思います。</p> <p>この計画が平成27年度から31年の5ヵ年計画でやっていくということで、各数値目標とか、進捗状況とか、その進捗に行かない、行きづらい場合に修正目標はあるのでしょうか。</p>
副会長	<p>計画年度内で。</p>
事務局	<p>最後の頁のところ、総合戦略の進行管理について記述させていただいておりますが、この推進会議にお世話になりながら、少なくとも年に1回はこの目標に対してこんなことをして、こんな状況にありますというチェックをお願いする機会は設ける予定にしております。</p> <p>それも含めまして、ご指摘を踏まえながら市としての確認も必要ですので、年に1回のタイミングを使い、ご指摘いただいた目標値や取り組み内容を修正していく必要があります、ローリングしようと考えております。</p>

発言者	発言内容等
副会長	よろしいですか。年に一度お会いするということですが。
委員	<p>前回に私からも結構意見を言わせていただいたのですが調整いただいてありがとうございます。</p> <p>僕も細かい質問ですが、文言の修正ということで、対照表の 5 頁で自転車整備道計画の策定から検討に変わったというところ。スクールソーシャルワーカーは配置の検討ということで、策定から検討というところの 2 点です。</p> <p>策定と検討というイメージがわからないのですが、そこはどのようなイメージで検討に変わったのか気になるので教えていただけませんか。</p>
副会長	策定と検討とどう違うのか。5 頁の自転車のところですか。
事務局	<p>まずは 5 頁の自転車道整備計画の策定で、検討に変えています。前回は少し先走り、まだ策定までに至る前の検討の要素が強いと思いました。</p> <p>この部分については幅広く関わりのある所管課がありまして、その中で総合調整を図りながらやっていかないといけないところも出てきましたので、より適切な表現としたいということで策定から検討とさせていただきました。</p> <p>スクールソーシャルワーカーの配置の検討につきましても、あらたな社会問題に対応していくのかという課題を受けての、5年の計画期間がある中で記述をするわけですが、具体的な指標を含めて整理していく必要があると考えます。</p> <p>社会問題化しているからすぐに対応できることもなかなか難しいので検討という段階で収めさせていただきました。</p>
委員	<p>今回の速報値が出ているアンケートでも、これ以外の複数のアンケートの数値を利用されていますね。</p> <p>例えば今回の速報のところにある、『仕事に満足感がある。』については 295 人がお答えしてくださっていると思います。このうち女性の比率が何%で、男性がどれくらいで、また女性のうち、子育てをしている方、結婚している方、仕事をしている方がどれくらいかというような数値は出ているのでしょうか。</p> <p>ただ漠然と仕事に満足感があるのか、例えば独身の方は満足度が高いけれども、子育てしている女性はそれどころではなくて、ただ収入を得るためにやっている状況なのか、そういうのがわからないと、ただ単に就業率を 2%あげたら、働きやすい環境ができたといってしまうのはあまりにも安易過ぎるように思います。</p> <p>市役所の女性職員の比率が 3.4%上がったなら、当然男性の就職率が下がることになりませんが、ではその男性はどこに働きに行くのかということを考えると、数値目標だけ、トータルの数字だけでみても、私的にはそんなに簡単に数字を数パーセントでなく、何十パーセントも目標数値をあげようとしているものがある割には、もとの数値がどのような状況の方がお答えになっているか見えていません。</p> <p>特に女性が働きやすい、子育て、今回ものすごく頑張っているのはなんとなく見えてきますが、私たちに届いている声というのが、実際に子育てしている人が 1,000 人のうち何人いたか教えてもらえますか。</p>
事務局	今回、幸せ実感指標ということで実施したアンケートにつきましては、開始をしたのが 10 月の末からで、この項目だけ急ぐ必要があったものですから、速報値を出さ

発言者	発言内容等
	<p>せていただいたものです。</p> <p>前回アンケートをお示しさせていただいたものは、クロスをかけて掲載させていただきましたが、今回は間に合いませんでした。</p> <p>今後、当然細かな部分についてはクロス集計を行いたいと思っています。</p> <p>この間も申し上げましたけども最終的には、総合戦略・人口ビジョンの参考資料として載せたいと思っています。</p> <p>この部分について今回は残念ながら速報値しかありません。</p> <p>基本的には目標数値として取り入れていましたが、アンケートとの結果を踏まえたうえで具体的に展開をしていく意識をしましょうということですので、そこでとらえていきたいと思います。</p>
委員	<p>今回の1,000人に関してもクロスにいたらない、女かどうか性別もわからないということですか。</p>
事務局	<p>はい。すみません。これだけの数字を集めるということで今はそこまでできていません。</p>
委員	<p>それは文章ですか。それとも電話ですか。</p>
事務局	<p>データをアンケート分析したものです。お願いをしている会社から取り急ぎ集計いただいたものです。</p>
委員	<p>調査はどのような方法でおこなっているのですか。</p>
事務局	<p>文章で郵送させていただいております。</p>
委員	<p>郵送で答えた方が男性か女性かというのは入ってきてないのですか。</p> <p>それは返っているけども、分析してくれた会社の方にこちら側からしてくれと言わなかっただけですか。</p>
事務局	<p>取り急ぎ情報が欲しかったので、そこまでは言っておりません。</p> <p>男性の比率としては、トータルでは45.7%、女性は54.3%の比率にはなっております。</p>
委員	<p>回答ですか。</p>
事務局	<p>はい、回答です。</p>
委員	<p>それぞれの質問に対してはそれぞれ何%というのはわかりませんか。</p> <p>女性の働きやすい環境づくりなんていう項目をあげるのであれば男性の満足度、女性の満足度など、次やる時には、また今あるデータでわかるのであれば、そういうものもとっていただけますでしょうか。お願いします。</p>
委員	<p>アンケートの関係でよろしいですか。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>これ 16 歳以上ということですけど、年代別の層はありますか。</p> <p>というのは地域の関わりになってくると高校生とは全然関わりがありません。そういうアンケートになると、高校生が多かったら全然少ないし、実際この関わり合いの中で見たところで、25%くらい 4 分の 1 くらい満足かなと思っていたんですけどないということは、これからますます自治会離れしていく可能性があります。</p> <p>実際、年齢層によっても変わってくると思います。そこももう少し細かく分析していただいて、地域としては関わっていくためには、世代別にやっていかないといけないので。アンケートだけを丸呑みでやっていくわけでもないですが、もう少し年齢層をバランスよくとっていただいたら、若年層で本当に興味があるのかないのかわかってきますし、その辺をもう少しお願いします。</p> <p>我々も現実的にいろんなクロス分析というのは、アンケートの前提としてあると認識しております。こうして表にだしていくのには、どこかで集計していかないといけないので、していきますけれども、最終的には、クロスをして詳細なアンケート分析を実際行っていきたいと考えております。</p>
副会長	<p>この冊子ができたときの結果には、最終的にそのクロス結果も入れた形にするということですね。</p>
事務局	<p>そうしていきたいと考えています。</p> <p>日数にもよりますが、今急いでクロスも含めてお願いしておりますので、取り急ぎ集計を載せられるよう考えております。</p>
副会長	<p>いかがでしょうか。特に大きなご意見がなければ、もしできたら時間もありますし、せっかく集まっていたいただいているので、感想も含めてお1人ずつ、ご意見をいただきましょうか。こちらから。挙手もありで。</p>
委員	<p>非常にうまくできていて、できあがっているなと感じがします。</p> <p>特に感じるのは幸せとか、満足度を上げることが大きな指標となっていると思います。幸せを実感するということが大きな生きがいや目標を見つけて、それを手に入れた時に実感があがっていくということです。</p> <p>その仕組みづくりを行政がやるのが大前提だと思っています。</p> <p>その中に文化の部分なのか、スポーツの部分なのか、それとも交流の部分なのかで、それぞれが満足感を出していくのではないかと。</p> <p>その仕組みづくりがもう少し明確にできたらいいのかなという気がします。</p> <p>例えば総合体育大会をやって、65 歳以上の人が健康寿命というのがあって、長く生きられる中で満足度を上げるためには、昔取った杵柄で頑張っている。</p> <p>文化の部分であれば、川西の市展がされていますけど、それをもう少しトータル的に一つのお祭りとしてみんなが参加しようと、めざして手に入れられるような仕組みづくりを行政がやればもっと満足度があがっていくのではないかなという気はします。</p> <p>お茶飲み友達が毎日その場において触れ合うことで満足が上がる方もいらっしゃるだろうし、もちろんそれぞれ公民館とかあると思いますが、もう少しトータル的にメニューが上手く出来上がったらもう少しいいと思います。</p> <p>それと 6 頁と 16 頁の指標が黒丸になっていますが、これはそのまま出されないと</p>

発言者	発言内容等
	<p>思いますけど、どうされるのかなと思ひまして。</p>
副会長	<p>6頁と16頁の黒丸についてはこの後どう処理されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>すいません。6頁の公共施設等総合管理計画に掲げる指標につきましては、この計画段階ではこのままになりそうです。</p> <p>実は総合管理計画の策定がどうしても前提になりまして、それを踏まえたなかで目標を定めていく必要があるだろうということです。</p> <p>適切な指標が何なのかということも、ただ面積が広くなればいいのかではないかもしれませんので、具体的な精査をしないとイケないと思ひます。</p> <p>最終的にはローリングと先ほど申し上げましたけれど、今回はこれで表記させていただき、次回というのもやむを得ないと今のところは考えております。</p> <p>もう1点の、自分が健康だと思ひている65歳以上の市民の割合については、市民実感調査に新たにこの項目を設けたいと思ひております。</p> <p>幸せ実感では取れない内容だったものですから、通常の市民実感調査の中での調査指標としてあげさせていただきました。</p> <p>そういう意味では最終的なパブリックコメントがかかるので難しい部分もありますが、数値が出てきますので掲載はできる限り示していきたいと思ひております。</p>
副会長	<p>市民実感調査は毎年されているのですか。</p>
事務局	<p>そうです。市民実感調査は毎年実施しております。</p>
副会長	<p>はい、わかりました。</p>
委員	<p>私自身とても勉強になることばかりで、いい経験をさせていただいていると思ひております。パッと見ると本当によくできていると思ひます。</p> <p>総合的に予算がどのくらいあって、一番初めの話にもたぶん出ていたと思うのですが、私もどこかに特化するべきではないかという意見を出させていただきました。</p> <p>まんべんなく、こういう風にうまいこと書かれているので、最終的にやっていくなかで、私たち市民も実感できる部分と実感できない部分とあると思ひます。</p> <p>総論と各論があると思ひますが、やはり眼に見えてLED化をやっていくというものでも簡単にいうと市内に3つするとLED化されているという解釈となりかねないですよ。市役所の前につけたからLED化したとならないようにはしていただきたいと思ひます。</p> <p>やるのであれば計画を5年の中で立てていただきたいです。</p> <p>徐々にどう進めていくのかは担当部局の方がやると思ひますが、これを5年10年となって、若い人が住みやすいまちにしていっていただきたいと思ひます。</p> <p>頑張ってくださいと思ひます。ありがとうございます。</p>
委員	<p>先ほど言わせていただきましたので、逆にエールを込めて。</p> <p>よくできているので、これを川西市の市民の皆様、あるいは近隣の地域、それから県、国。これをいかにアピールしていくかということも大事だと思ひます。</p> <p>そのあたりを頑張って目立つような活動にしていいただければと思ひます。期待して</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>いるので、よろしくお願いします。</p> <p>先程おっしゃったことと、ほぼかぶっているのですが、いろんな取り組みがたくさんある感覚はありますけれど、すべてが大事だと思いますので、やっていかないといけないと思います。まさにおっしゃった、やっていることをどう伝えていくか、どう知ってもらおうかということが大事かなと思います。</p> <p>前回どこか特化しないと伝わらないかと思いましたが、これだけたくさんやっつけられるのであれば、どう伝えるかということだと思います。</p> <p>取り組みがこれだけたくさんあって、新規と書いてあるものはこれからだと思いますが、逆に新規と書いていないものは既にやっているということですね。</p> <p>それをどれだけの市民の方が対外的にも含めて認識されているのかも含めて、伝わるかが大事だと思いますし、そのためには、優先順位とかやり方とかを含めた発信の仕方が大事だと感じました。</p>
委員	<p>全体的なものに対してはいいと思います。</p> <p>ただ若者世代の呼び込みの部分の中で、就労支援なんかはターゲットとしては若者層の部分しか書いていません。</p> <p>本来は少子高齢化のなかで、働ける元気な高齢者、これの就労支援の部分が抜けているのではないかと考えています。その辺も盛り込んだらいいかと今思っています。</p>
委員	<p>前回は申し上げましたが、本当にとってもよくまとまっていると改めて思いました。</p> <p>その中で我々はできるだけ人口に流入していただくことを主眼に見させていただきました。</p> <p>その中でも子育て世代の流入促進とか、就労支援センターとか、先ほどの話とかぶりますがそうした機能や施策をうまくPRして、我々も何とか地域に人を呼び込んでいきたいなと感じました。</p> <p>あとは地域づくりをするうえで、18 頁になりますけれど、地域づくり一括交付金の充実という表現と、活動拠点を整備する、参画と協働のまちづくりの推進、担い手の発掘と育成、こういう3点4点書いていらっしゃるんですけど、例えば、地域活動拠点の整備だったり、担い手の発掘育成の機会だったりについては我々も大事だと思います。</p> <p>その具体的な施策で今お答えいただけるものがあればお教えいただけたらお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>この地域づくりに書いている取り組み内容でございます。</p> <p>地域分権制度という表現をさせていただいておりますが、27 年度から一括交付金を地域のコミュニティに交付をさせていただいて、地域で交付させていただいたお金を独自で自由に、基本的に用途制限なく使っていただけるような、課題に対応できるような仕組みを作りました。</p> <p>それをベースとしながら、今後それを金額の問題だけでなく充実化していくのが課題であると感じています。</p> <p>拠点の整備でございますが、新規で、現在市内に14地区コミュニティの単位があるのですが、そのなかでも現在はコミュニティの組織化ができていないところが1カ所</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>ございます。</p> <p>そのところも新たに組織化の可能性がございまして、拠点の整備をさせていただく必要がございます。そういうところで具体的に新規として挙げさせていただいています。</p> <p>担い手の発掘と育成は従来から課題としてあげておりますけれど、なかなか特効薬的なものはございません。</p> <p>地道に研修や講座を開催しながら、そういうものを充実させていく方につなげていきたいと思っています。</p> <p>具体的にはパレット川西に市民活動センターがございまして、そこを中心的に担っていただいて、例えば、ボランティア、あるいはNPOの活動も活発になるような支援をやっているという状況でございます。</p> <p>関心、感想になりますが、どちらかというと基本目標 4 の新たな雇用、まちの賑わいの創出というところに今日は眼が止まりました。</p> <p>全体的に具体性のある計画のなかで、ややこのあたりの具体性や策にもう少しよく見えるものがあれば思いました。</p> <p>就労支援ももちろん大事ですが、②の新たな仕事、雇用の創出というところがすごく大事だと思います。</p> <p>昼間元気に働く方、若い方もシニア世代も増えれば、流入人口が増えて、まち全体が元気になるということがあると思います。</p> <p>産業の活性化を進めていくためには、産業構造の特性を踏まえた表現がありますね。産業構造の専門家ではないのでよくわかりませんが、今の川西市の産業構造を踏まえたうえで、産業の活性化をはかっていくのか、むしろ産業構造を少し組み替えてでも、もっと生産力をつけて新たな川西市の姿というのを仕事の面から見出していくのかその辺があってもいいのかなと思いました。</p> <p>大企業を誘致することは非現実的だと思いますが、一方でベッドタウンとしてずっと発展してきたまちが、これからもずっとベッドタウンのままベッドタウンとして現状維持していくということなのか、そうではなくて新たなお仕事の場をどんどん作っていく川西市でいくのかが気になります。スモールオフィスとか、ホームオフィスという考え方もありますから。</p> <p>それこそ入ってきた古い団地の中で、ホームオフィスをやりませんか、ここだったらホームオフィスやるとこれだけよくできますよというような、そういうサービスを提供するとか、新しい産業を生み出していく具体的なアイデアをもっと出していいのかなと思いました。</p> <p>逆に開き直って、うちはずっとベッドタウンでいくというあり方もひとつだとは思いますが、どっちかというと新しいアイデアを出してシニアも若い人も川西に行ったら面白い仕事ができそうだというような、そういう姿が出てくるといいなと思います。</p> <p>首都圏中心に通勤をしていくというのがビジネスの中心にというのは変わっていくと思いますのでその辺のアイデアを出していければいいと思います。</p> <p>国からのオーダーに、窮屈さはあると思いますが、既に策定されてらっしゃる総合計画との齟齬がないように、その辺をもっとこういうまちになっていくという、産業構造の組み換えというか、新しいビルドアップを含めたそういう考え方もあっていいのかなと思っておりました。</p>

発言者	発言内容等
副会長	<p>新たな産業づくりということでは、ふるさと団地再生計画の中にも含まれる話と思うのですが。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、川西市として今回我々が総合戦略を立てていくなかで、この基本目標の4に係るところが弱いと認識しています。</p> <p>アイデアを出していかないといけないというのはご指摘のとおり認識しております。</p> <p>例えばテレワークの問題とか、シニア女性の起業支援とか、具体施策を書けていませんが、ホームオフィスは市内に増えているようにお聞きしております。</p> <p>そういう状況も踏まえたくて新たな展開、雇用創出を考えていく必要があると思います。</p> <p>産業構造を変えるまでは中々難しい問題ですが、新たな可能性の追求は今後していかないといけないと思っています。</p> <p>まだ具体的なアイデア出しがこの程度で終わっている状況でございます。</p> <p>またお知恵をいただきたいです。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>私は今地域活動を行っているのですが、やはり地域が変わらないと市も変わりません。それから現役世代は仕事で一生懸命やっておられるので、休みの時に憩える場所、そういう集える場所が地域にまづないですよね。</p> <p>それをまづ作っていく。年寄りも若くて、私も70近いですが、やはり行くところがありません。なにか趣味をやっていると、仮にゴルフやっている人なら練習場に行って半日つぶすことができますが、それ以外の人は何もありません。</p> <p>ふらっと行って話せる場所が何もない状態です。</p> <p>地域として作っていかないといけないということで、深山池公園に古民家があるので、かやぶき屋根のあれをもう少し利用できないかなと我々も地域分権のなかであげています。</p> <p>そうすると、やはりいろいろな障害が出てくるので、それは我々の責任でやっていきます。</p> <p>地域が変化しないと市は活性化しないと思います。我々地域の間一人ひとりが変革する気持ちを持たないと、今までと同じだったら衰退してゴースタウンになっていくだけです。年寄りが増えて若い人が出て行くだけになります。</p> <p>若い子も魅力あるようなまちづくりをしていき、我々が次につなぐ、我々は次に誇れるふるさとをつくりたいというのを私は個人的にも持っています。</p> <p>いいふるさとというのは、今を変革しないと無理でしょうね。</p> <p>これからは、我々が何をすべきかから始めない限りは、市からこうしてもらってはちょっと無駄だとか、だめだと思います。</p> <p>こういう計画を立ててもらえるので大きいのもかなりたくさんあって難しいと思いますが、我々も協力することによって、一歩でも半歩でも前に進められれば川西市はよくなると思います。以上です。</p> <p>重なりますが24頁の、「まちづくりの主体の役割」で最後に書かれております、「そこで本戦略の推進に関しては、以下のまちづくりの主体による積極的な取り組みの展開が期待されます」というところで、市民の方にはこういうことが期待されます、市民公益活動団体の方にはこういうことが期待されます、事業者の方にはこういうことが期待されておりますと、積極的・主体的にこの本戦略をやっていきましょうということ</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>で謳われております。</p> <p>これは総合戦略を市民の方々、事業者の方々を知っていただいて、主体的に積極的に動いていただくことが大事だと思いました。</p> <p>23 頁、私は銀行のものなので、どうしても新たな仕事とか産業の活性化に眼が行ってしまいますが、取り組み内容のところ、連携金融機関による融資制度の活用というのが載っています。</p> <p>銀行としてなんとか色々な制度を使いながらなんとかこの総合戦略のお役に立ちたいと感じました。</p> <p>私も銀行でございますので、銀行といえば主役はお客さまで、ここでいう市民だと思っておりますので、黒子として市にお手伝いしていくとすることもこの 2 回でありました。</p> <p>1 つだけ思っていることがありますして、私どもも会社のなかでお客さまにアンケートをします。</p> <p>1,000 件配って、例えば 250 件回答があったとします。そうしますと 75% のお客様は回答する価値がないと判断され、スポイルされたということでスタートします。</p> <p>その中でいただいた 250 のうち、良かったという回答が 150 件あったとしたら、150 が『良かった』で、後の 100 件がダメだったという話になると、75% と 10% の 85% のお客様にスポイルされてしまっているということがスタートとなります。</p> <p>ここでいうと実際回答があった市民の方の中から、スタートしているので、それで指標が、満足度が高いとなっていると思います。</p> <p>本当の市民の人の気持ちが現れているのかどうなのか、またこういう指標の見方を考えていかないといけないと思います。</p>
副会長	<p>アンケートに対しては、50% は答えるのも嫌だという人たちということですね。</p>
委員	<p>私たちの会社では、そういうとらえ方です。</p>
委員	<p>前回ちょっと急用がありまして休んだので、話がつながらない部分があったのですが。</p> <p>これまでの話のなかでも言及されておりますけれど、やはりこういう制度の中で国が戦略を立てると、どうしても総花的になるのは仕方ありません。</p> <p>総合計画とどこが違うのかという感じの印象は、政府が地方創生と言いだした時にありました。</p> <p>地方創生と言いだしたと同時に、これまでまがい成りにも元の鳥取県の片山知事に言わすと、遅々として進んできた地方分権という論議がどこかに行ってしまう、その熱が冷めてきたということです。</p> <p>安倍政権は地方分権に対して熱意が感じられないと僕は思います。</p> <p>そういう中で、こういうものを押し付けられたといえば語弊があるかもしれないが、霞ヶ関で考えたものを地方でやりなさいとされた感じは否めないですね。</p> <p>だから、県をはじめ各所で色々計画が出てくるわけですけども、私が取材しても、人が書いているものを読んでもぐっとくるものがなかなかありません。</p> <p>この間、但馬の養父市長の話のを伺う機会がありました。養父市は戦略特区に選ばれて、先進的なことに取り組んでいるのですが、あそこの広瀬さんというのは民間の建設会社で 3, 4 年ほどおられて、旧町の臨時職員になり、今の市長になられまし</p>

発言者	発言内容等
	<p>た。</p> <p>最初から民間のコスト感覚で町政を見ていて、改革はぶち上げないが、色々修正されて実績のあるかたです。特区ということもありますが、彼の話の聞いているとやっぱり危機感が伝わってきます。</p> <p>危機を回避する、脱出するためには何をしたらよいかそういう発想でされています。それが農業委員会の改革とか、農業法人を誘致するとか、農業だけではなくていろんな規制緩和への取り組みになっています。</p> <p>これから、人口減という非常に危機を迎える自治体共通の危機を迎えるなかで参考になると思います。</p> <p>危機を乗り越えていくために、いかに何をするのかというのが明確にメッセージとして伝わらないといけません。</p> <p>こういう形の総合戦略では、なかなかそこまではいきません。だいたい同規模の自治体で似たり寄ったりとなります。これはこれでいいかもしれませんが、ほんとに川西というまちを、持続させて豊かなまちにしていくためには、今後そういう視点でまちづくりというのを考えていかなければいけないと思います。どこもそうですけどね。</p> <p>先ほど自治会やご高齢の方のお話しも出てきましたけど、1つ見ていて思うのは世代間交流をどう演出していくか、仕掛けていくかが、これからのキーになるのかなと思います。</p> <p>金沢でしたか、福祉施設で老人ホームがあってそこに学生がボランティアをすれば安く住めるという賃貸住宅があります。</p> <p>工夫されているしかけがあります。これは一施設の話ですけど、まちづくり、自治体においても、そういったことがキーになってくるのかなと思います。</p> <p>ただ高齢化をどうするかということじゃなくて、呼び込むという話がありましたけど、まぜこぜにしてしまうような。そうすると新しいものが生まれる可能性があります。</p> <p>そのためには、例えば養父市は戻ってきてもらうために、大学は東京でも大阪でもどこでも行ってもらって奨学金を出して、返さなくても良いがその代わり帰ってきてくださいということをやっています。</p> <p>これはどこにでもできることではないですが、そのまちならではの施策をしかけていくという視点・発想というのがいいと思います。</p> <p>具体的に何がと問われると私も簡単には答えられませんが、そんなこともこの戦略の企画として皆さんで話し合っていければ、これで終わりではなくていいと思います。</p> <p>長くなって申し訳ないですが、アンケートの件ですが市民だけでなく今であれば阪神間は宝塚止まりみたいなのところがあって、観光資源や、いろんな節目の年もあり結構にぎわっています。</p> <p>そのことについて、周辺にお住まいの方の思いというか、川西に対する印象とか、そういうアンケートも実施しているかもしれませんが頻繁にやってみると、その時の川西像がくっきり浮かび上がってくるのではないかなというのがあります。</p>
委員	<p>先程以外のことで、例えば 19 頁に、つながり支えあうまちづくりというのがありますが、この認知症カフェを1ヶ所から 8 カ所、8 倍に増やそう、認知症サポーターを 5,000 人増やそうというのを 5 年間でやろうとあります。</p> <p>認知症カフェというのは誰が作って誰が運営して、誰が働くのだらうと思いました。</p> <p>8 倍に増やすって、働く人間も 8 倍というわけで、この働く人たちは有償で働くので</p>

発言者	発言内容等
副会長	<p>しょうか。それともこれはNPOとか、そういう人たちに運営してもらうところを8倍に増やそうとしているのでしょうか。</p> <p>ボランティアが8倍に増えて各施設に何十人といたとして、お金を得られないボランティアは就業者としてはみなされませんよね。ボランティアが増えれば増えるほど就業者は減っていきますよね。</p> <p>だからボランティアにもものすごく依存している、サポーターを増やそうとしている、だけど就業率もあげてというのはかなり虫のいい話で矛盾しているように感じます。</p> <p>例えば私がやっている事業で、支援をするサポーターを1,000人から8,500人にするというもの、神戸という153万人口都市で私があっちこっちで啓蒙活動をしてテレビや新聞にも色々出てやると10年かけて1,000人から8,000人に増やして維持しています。</p> <p>それにかけてきた労力を考えると、それほど生易しいことではないとよくわかっているんで、この夢のような数値を書けば書くほど、達成できなかったときの落胆とか、罪悪感とかを、川西市役所の今日副市長2人おられますけれど、どう向き合っていくのかと思います。</p> <p>2回目の会議時にも言ったと思いますが、広域連携のことが何も書かれていませんね。今、阪神間のことがお話しに出て嬉しかったのですが、広域連携のことを謳っていませんね。</p> <p>私はいくつかの市の委員をしています。宝塚でも伊丹でも西宮でもみんな同じ会議を今年度やっているわけです。</p> <p>みんな地元への人口流入をしようとしていて、うちはこれをやりますと謳っていて、国からの仕事で仕方ありませんが、宝塚も伊丹も川西市の人口を減らして自分のところの人口を増やそうとしているわけですから、入ってくる人もいますが、獲られる人もいます。</p> <p>それをやっても、どんどん自分たちの首を絞めるような気がするんで、私は行ったり来たり、せめて歩けるまちづくりというのがありましたけど、いやいや歩く範囲内で狭めてしまったら、それこそ近隣の市と、例えばうちのサポーターも実は市民じゃなくて50%以上は近隣の市の方です。</p> <p>ですから隣町と仲良くするのか、しないのか、できるのか、できないのか、それができて初めてこちらに人が必要などきに向こうも手伝いに来てくれるし、向こうが必要な時にこちらも助けに行けるし。</p> <p>買い物も同じだと思います。ボランティアで通って土地勘があるから、あそこにあんな店があるということを知って、じゃあ今度みんなで買い物にいこうとか、あそこにあるあの公園すごくすてきだから、川西の桜すごく素敵だったから一緒に見に行かないって近隣の人が誘い合ってきてくれる。</p> <p>そのためには自分たちも近隣の街を訪れない限りそういうことは起きないと思っています。</p> <p>夢のような数字も良いですけど、もう少しそういう現実的にありえそうな、獲りあうのではなくって、交流人口がそれぞれ近隣の地域が増えていく、住んでいる人口は増えないかもしれないけれど、減るかもしれないけれども、交流人口が経済活動する、それぞれ活動する人口がなんとなくそれぞれの街で増えていくような絵作りを行政が縦割りではなくて、考えてくれるといいなと個人的には感じております。</p> <p>今のカフェの担い手の話はどうでしょうか。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>8カ所の認知症カフェは認知症サポーターをあてにしている、これが集まらなかった場合は覚悟があるのでしょうか。こういう広域連携、周辺についての広域連携はどうでしょうか。</p> <p>担当課の想いとして書かしていただいています、認知症カフェもボランティアといえますか、NPOでつくっていただいています。</p> <p>目標としては、担当課とすると市内7カ所程度をめざしていきたいと思っています。</p> <p>施策として認知症が今問題となっていることの現状を踏まえた上で、あげています。認知症サポーターにつきましては総合計画で数値をあげている部分であり、見直しをかけて今回は数値をあげています。</p> <p>現実には急激に人数が増えてきているということと、この実績を踏まえて数値として記入させていただいています。</p> <p>ご指摘のとおりボランティアだけ増えたらいいのかということ、認知症という課題に対して適切に対応していけるバックはあるということです。</p> <p>数字としてカフェは確かにとんでもない数値と見えるかもしれませんが、サポーターの方は、現実の動きを踏まえた上で非常に可能性が高いと担当課は考えていると聞いて書いております。</p> <p>広域連携につきましては必要な部分、あるいは総合戦略をうたっている国も広域連携の視点を持って書いておりますが、我々市の方としては、この中で記述というよりは、別の中で必要に応じてということなのかなということ、なかなか個々明確に記述していくのは難しかったということでございます。</p>
委員	<p>私も、労働組合という、労働団体という立場で参加させていただきまして、こういう会議に初めての参加でしたので発言も勇気がいりましたが、勉強となりました。</p> <p>働く者の立場で、発言させてもらいますと、仕事がしやすいまちであってほしいというのはもちろんですが、住んでいてほっとするまち、元気がもらえるまちであってほしいなと会議に3回参加させていただいて、皆さんの話を聞きながら、川西市がそんな街であってほしいとすごく思いました。</p> <p>そのためには総合戦略の24頁に書かれています、まちづくりの主体の役割、期待されるまちづくりの役割というので、それぞれの主体が発揮しないといけないと感じました。私も日頃、労働組合という立場で職場の課題に取り組んでいます。</p> <p>私の所属する日本郵政労働組合というのは、ちょうど地域といろいろな交流して、地域の中でいろんなつながりを持って行こうということで取り組みを始めましたので、これから積極的に私たちも地域の方々と連携して色々やっていきたいと思えます。</p> <p>ここに書かれています3つの主体というのを行政につなげていただいて、それぞれが、それぞれの役割を果たしていいまちをつくっていかれたらと思っております。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私はハローワークですので行政機関としまして、現在川西・しごとサポートセンターで川西市と連携して、共同で就労支援し、ミニハローワークというなかたちでやらせていただいているところです。</p> <p>就労支援の部分では私たちも積極的にかかわって、ハローワークのPRにもなりますし、ハローワークをこき使っていただきたいなという思いもあります。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>実は今までハローワークは求人情報も民間の職業紹介事業者であろうと、自治体であろうと、あまり出しませんでした。今は全部公共の財産ということで、これからももっともっとオープンになっていくと思いますので、今まで以上に利用していただけたらと思っています。今後ともよろしく願いいたします。感想ですけれども。</p> <p>同じ自治体ということで、この総合戦略を兵庫県もつくりましたが、国の考え方でこの創生戦略に掲げた事業でないと財源を当てられないとなっていて、どこの自治体も総花的にならざるを得ません。</p> <p>阪神北県民局は、うちの管内でも伊丹市を除いて3市町でこういう戦略会議を開いて、いろんな意見をもらいながらやっていますが、どこも皆同じようなことになっていきますし、皆さんが言われていましたように結局は社会増減の対策になってきます。</p> <p>自然増を進めていこうとすると、子どもをどんどん産んでもらうために、この地域で何でも揃うような所でないとか中々一気に増えないとなるので、やっぱり魅力を高めて、社会増減で増やしていくというのも伊丹でもやっています。</p> <p>宝塚・三田・猪名川でも、お隣りの大阪でも同じようなことやっています。</p> <p>はっきり言いまして戦略は、各自治体の特長というのをこの人口ビジョンで分析したうえで、大まかなことを書いていただいたら、私はそれでいいと思います。</p> <p>あとは、施策の中の取り組み内容で若干事業を書いておりますが、これも事業をどれだけインパクトのあるようなアイデアを考えてそれをやるか、それにかかってくると思っています。</p> <p>川西の場合でしたら、ハードでは中央北地区がいよいよこれから本格化していく、南部地域では、虫食い状というところを整備されると聞いています。</p> <p>北部の方であれば現在黒川の観光についてどういうやり方をしているか、どういうスポットに焦点をあてたらいいか考えておられるようですし。</p> <p>ソフト事業といいますと、健幸マイレージとか、親元近居制度とか、分析したうえですでにやられています、そういうのをさらに進めていただけたらいいのではないかと思います。</p> <p>隣の伊丹市さんは、今新聞でもよく出ていますけど防犯カメラに見守る目を合わせて、犯罪防止と認知症対策とを合わせたものをやろうとしています。</p> <p>先週の地域づくり懇話会の場で市長さんも言っておられましたが、井戸知事が県は伊丹市さんの成果を見てから考えるとおっしゃっていました。</p> <p>インパクトのある事業を考えていただければと思います。</p> <p>先ほど近隣の市町との広域連携の話も出しましたが、実際事業をするにあたっては各市で単独でやっても成果が出ないのはそのとおりだと思いますので、その辺は連携しながら、県としても協力していきたいと思っていますので今後ともよろしく願いいたします。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議長への引継ぎもこめて。みなさんおおむね戦略としては全体を網羅したいものになっていると何人かおっしゃっていただきました。一方で、どう実現していくのかというあたりで、どんなシナリオを展開していくのか、それが具体的であることが重要で、それが見えないと納得できないなというようなお話もいただきました。</p> <p>いくつかアイデアとして、産業構造を考える必要があるとか、広域連携のこととか、いろいろな部分のアイデアもいただきました。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>具体策のシナリオということでは、国に求められてこういう性格のものを作ったという経緯があるので、どうしても網羅的になるというのはご理解いただいていると思いますが、これから取組内容のところで具体的などころがもっと先ほどのインパクトあるような事業を展開されるのかなというような状況です。</p> <p>きっちりまとめられておりませんが、それを受けて、最後、副市長お二人のお話をうかがいたいと思います。</p> <p>全体的な構想そのものの戦略が長期の戦略ではないということで、5年間と非常に偏ったものと私たちは感じています。</p> <p>それによって補助金をいただいて実施しようということで、内容はふわっとは書いていますが、5年間で着手します。</p> <p>検討はふわっとしていますが、やっていく覚悟があります。</p> <p>どうしても生産年齢人口のところに、かなりたくさんの部分を割いて書いてしまっていますが、実際5年ではこうならないかもしれません。</p> <p>10年20年先を考えたときに、そしたらこれでやっていけるかというところをそう思っておりません。</p> <p>特に川西市は住宅都市ですから、外部から都心部からたくさんの人に来てもらって、購買してもらっているわけではありません。</p> <p>ただそこに人は住んでいるわけですから、その人たちの生活の利便性、生活の質というのは今までと同じように保っていく必要があるというのが前提です。</p> <p>この前も言いましたが、今問題となるのは、いわゆる家族として子どもたちもふまえて生活していた人が、半分になり、4分の1になっていくわけですね。</p> <p>人口密度がどんどん減っていけばいわゆる商業ベースでは成り立ちません。</p> <p>小売店でもそうですし、大型店舗でもそうですけど、成り立たない時代が10年20年先にやってくるだろうというのが容易に想像できます。</p> <p>その時でも地域が自立してやっていくことを考えると、この前会長さんもおっしゃっていましたが、最後は自分がそれを担うような社会をつくらないといけません。</p> <p>その時に生産年齢の市民が役に立つかという、実は役に立ちません。</p> <p>家族を養うための一人前の食い扶持を取ってこないといけないわけですが、それは就業で地域と関係ないところで働かれる現状が今でもあります。</p> <p>そうしたらどうするのか。シニアや、いわゆる今まで専業主婦をやっているような方が、地域の中で足りない部分を補っていくようなそういう新しい仕事とか就労概念を作っていくかといけません。</p> <p>最後の方で震んでいますけれど、女性の起業支援とか高齢者の起業支援をというのは、要はいままで一人前の食い扶持を稼ぐ仕事じゃない仕事を作っていくか、地域は生きていけない状態になるのではという心配があります。</p> <p>そのためには週になにも5日間開いてないといけないこともないし、週に2日、1日でもかまわないし、自分が前やっていたような自転車の修理やってあげましょうと。</p> <p>それは儲からない、小遣い程度になっても儲からないけども、あとは年金や夫が稼いでくるお金で生活できる。</p> <p>その中で地域のために役立つという仕事がないと、これから10年20年を見据えて作っていくかうちの地域は疲弊していくという気がしています。</p> <p>もう少し先のことを考えて、今のうちに補助金をとってきて種を蒔ける部分があれば蒔きたいなと思っております。</p>

発言者	発言内容等
	<p>それとアンケートの話が再三出されて、かなり細かいところの分析が必要だとおっしゃられていましたけど、実際アンケートは難しいです。</p> <p>先ほど銀行の支店長さんが言われていましたけど、母数というのは非常に大きな問題でして、いくら細かな分析をやっても、作業としてはできますが、出てきた結果の数値に意味があるかどうかというと、難しいです。</p> <p>例えば我々がやっている 1,000 人くらいのアンケートで、しかも半数、500 くらいだと、16 万人人口があるなかで、それだけしか回答がないものを細かくやったとしても間違った方向性がでてくる可能性が高いです。</p> <p>やはり今のアンケートを単純集計し、一回クロスをかけたところで、どれだけ意味があるか怪しいくらいと感じています。</p> <p>また事務局で頑張っていていただいていると思いますが、あんまり細かい分析までやりすぎると返って現実と違う形にならないかと個人的には思っています。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました、私も頑張っていきたいと思っておりますので、またご指導のほどよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>短い時間の中で密度の濃いご発言、ご意見をありがとうございました。</p> <p>最後には非常に良くできているというようなお褒めのお言葉を多数いただいたことで、事務局としてもやりがいがあり、報われたかなと思っております。</p> <p>これは冒頭から議論もありましたけれど、今般国が出て参りました地方創生戦略、それぞれの自治体に戦略をつくれという、号令一下の下で今進めております。色々批判的にとらえるのは簡単でございます。</p> <p>ただしそれは我々自治体に従事している職員はみんな分かっていることでございます。</p> <p>こういう状況の中で、それぞれの地域の計画を戦略ビジョンの中にかに有機的に載せていくか、さらに結果として実現していくか問われると、みなそういう思いでつくっていると思ひます。</p> <p>私どもの自慢をするわけではありませんが、川西の場合は総合計画をかねてから単に絵に描いた餅にしないという大原則のもとでやってきた実績があります。</p> <p>したがいまして 5 年間で色々ご批判はありましたが、計画内容の指標達成の目標値設定は、かなり吟味させていただいているということでございます。</p> <p>じゃあ達成しなかったらお前は腹を切るのかということもありますけれど、そういう気持ちでやっておりますし、とりわけ新規の部分について、事業を、取組内容をあげております部分については市だけでは達成できないので国の交付金をしっかりと確保できるような形にもっていきたいと思ひているところでございます。</p> <p>一つは、皆様からいただきました中でも、最後に加えた 24 頁のまちづくりの主体で、先來私も申しあげましたが、このビジョンそのものが、行政計画ではなくて、市民の皆さん、利用者みなさん、まちづくりの主体みなさんとともにこのビジョンを実現しようという大前提での中のビジョンであります。</p> <p>先ほどからご意見をいただいておりますけどもまちづくりに具体的に関心を持って、しかも今回は 16 頁あたりにありますが、実際に自治会やボランティア、NPO の活動に関わっている市民の割合が残念ながら非常に心もとない数字が出ているわけがあります。</p> <p>例えば 10 万人の人口があつたとしてもまったくまちづくりに関心がない、地域活動に参画したことのない人が 7 割いらっしゃるとしたら 3 万人しか活動の指標がないで</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>すね。</p> <p>例えば人口が5万人であったとしても、80%が何等かのかっこうで地域に関与していたら4万人になるわけですから3万人より多いわけですよ。</p> <p>どういふ地域づくりを我々がこれからめざしていくか、その処方箋が今進めている地域分権ではないかなと思っております。</p> <p>そのためには総合戦略をよりたくさんの方々に知っていただくために、皆さんと共有できるようなビジョンになるように、このビジョンの展開について心していきたいと思っております。</p> <p>ほんとに短い時間のなかでよい計画ができたと思っております。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>まずは出遅れまして申し訳ありませんでした。</p> <p>とても楽しそうな話をたくさん半分ぐらい聞き逃しているの、残念だなという思いもあります。</p> <p>今回の総合戦略については、会議の方あるいはまた両副市長さんの方でこういう性格付けのもので、それはそれとしてきちんと作っておくことに意味があるという風に考えていただければと思っております。</p> <p>法律で努力義務とされている、それについて一定お金がついてくるそういう種類のものということです。</p> <p>それについて、色々お知恵を拝借したということで、ご了承いただきたいという風に思っております。</p> <p>もう一方ではこういう計画を作らないといけないことから、地域の現実ということをもみんな考える、良い機会となったと思っております。</p> <p>こういうこともなければ、なかなか将来の人口減少とか、地域社会の衰退について、正面切って考える機会はなかったのではないかと思います。</p> <p>その中でほんとに困った、どうしようかという時に人間ようやく知恵が出てくることもあります。</p> <p>川西市の場合にはあまりそういう差し迫った状況がひしひしと感じられるというような状況ではないので、若干そこのところの勢いが弱いかなというのは、他の市町村と比べると感じなくもないです。</p> <p>それは住宅都市の性質として、いたしかたないと思っております。</p> <p>その中でも本当は目に見えて大きな危機が迫りつつある、それはこの数年というより、やっぱり20年、30年のスパンできそうです。</p> <p>それをこの機会に考えていただく、それに向けて、この5年間で何を進めていくのが大事です。</p> <p>個人的に色々言いたいことはありますがそれはおいておくとして、とにかく手持ちの資源というのをほんとに大事にさせていただきたいと思っております。</p> <p>妙なお金を引っ張ってくるために、手持ちの資源を減らすようなことだけはやめてほしいというふうに思っております。</p> <p>それはやはり本当に先々に向けての、10年先、20年先にむけての投資となるような、そういうお金の使い方をしたいです。</p> <p>そういう計画として、向こう5年間の間に何をするのかあらためて考えていかなければならないと思っておりますし、そういう事業の進め方をぜひしっかりと検討をし、そして実行していただければと思っております。</p>

発言者	発言内容等
	<p>それぞれの事業の項目自体は、多少気がかりなものではありますが、おおよそ、ある意味では向こう5年から10年に向けての事業になっているかなと思っております。</p> <p>しかしそれは本当に先々に続く可能性というのを支えてくれるものかどうか、やっぱりこの仕掛けの作り方、ここから先どういう風にそれを着実に川西市の地域の中に、市民の中に着実に定着させるかということに関わってくると思っています。</p> <p>表面的に、財政資金あるいは交付金を使っていくだけのそういう時代ではないだろうと思っていますし、そういうことに、職員の皆さん方、あるいは市民の皆さん方、関係機関の皆さん方の貴重な時間、人、お金を使う余裕はもうありません。</p> <p>それくらいの覚悟で総合戦略をしっかりと取り組んでいただきたいと私自身は思っております。</p> <p>そういう点では、先ほど来、皆さんからありましたけども、まずは今回のような形で幅広に構えておいていただいて、その中で何を尖らせて、何をいなしていくかそういうところをこれからの実施の中で考えていただければと私自身は思っております。</p> <p>このところがこうと言い出したらきりが無いのもう言いませんけれど、この折角の枠組みというのをうまく活用してこれからの運用に利用していただきたいと思っております。</p> <p>あわせてこの総合戦略は総合計画がベースとなっているので、総合計画を着実に進めていくなかで、ちょうどいい道具になるのではないかと私自身は思っているところもあります。</p> <p>そういう観点でも上手に総合戦略を使っていればとそんな風に思いながら皆さんのお話を聞いておりました。</p> <p>色々言いたいことはおありと思いますが、まずはこの総合戦略、今回お示しいただいた案は基本的にはご賛同いただいたと思います。</p> <p>多少、交流人口であるとか、産業構造の問題であるとか部分的には事務局と相談しないといけない箇所もあろうかと思いますが、大筋これでご了承いただいたと思います。</p> <p>今日が一応最後ということで、まずは今日のご意見を踏まえて調整して、大筋変えないことで、この推進会議の答申とさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>申し訳ありませんがよろしく願いいたします。</p> <p>なお、最終調整は恐縮でございますが、事務局と私の方にお任せをいただきます。本日、聞き漏らした前半の方のお話は後ほどしっかりと事務局から聞いて対応させていただきますと思います。</p> <p>これも私の方に一任ということでお願いさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは今のような進め方で、最終調整を行い、答申をさせていただきますと思います。</p> <p>なお答申にあたりましては、委員の皆様にもきちんとご連絡させていただいて、ご覧いただけるようにしたいと思います。</p> <p>先ほどありましたように、この答申自体はあくまでも私どもの推進会議からの答申</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>でございます。</p> <p>この後パブリックコメント、そして市の決定で正式に行政計画として進んでいくという手順となるようでございます。</p> <p>これは議会の議決事項ですか。</p> <p>議決は必要ありません。</p>
会長	<p>ご報告事項ということでございますので、今後このような手順で正式に計画になっていくということでございます。</p> <p>それでは本日いただきました意見をふまえて最終調整をして、答申をさせていただくということについて、本日の会議については以上とさせていただきたいと思えます。</p> <p>本当に熱心にご議論いただきましてありがとうございます。</p> <p>中々楽しい意見がたくさん出たので、毎回楽しみにしていたのですが、今日は出遅れてしまってどうも申し訳ございませんでした。</p> <p>それでは事務局の方にお返しさせていただきます。</p>
事務局	<p>皆様、本日まで3回にわたりまして活発にご議論いただきありがとうございます。</p> <p>それでは、私の方から当推進会議の今後の流れについて改めてご説明いたします。</p> <p>会議としましては、本日で一旦閉会となります。</p> <p>先ほどご承認いただきましたとおり、本日のご議論の最終調整、これは新川会長と事務局で行って参ります。</p> <p>後日、新川会長より大塩市長へ答申をいただくこととなります。</p> <p>その後、12月下旬にパブリックコメントを経まして、3月までにこの戦略の最終案、最終ということで策定にこぎつけるという流れとなります。</p> <p>また、来年度に入りまして、その時期には実施している総合戦略の進捗状況等を皆様にご報告させていただく予定としております。</p> <p>その際、委員の皆様には再度お集まりいただきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>詳細につきましては、新年度早々に、事務局から開催日程を調整させていただく予定としておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは本日の会議を終了させていただきます。</p> <p>これまで事務局の不手際も多々ございましたが、おかげさまをもちまして閉会にいたしましたこと誠に感謝しております。本当にありがとうございました。</p> <p>お疲れ様でございました。</p>

以上